

第2期坂町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況



令和5年3月

坂町

1. 基本目標

第2期坂町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、4つの基本目標を次のとおり設定しています。また、これらをまたぐ横断的な視点として、「多様な人材の活躍を推進する」、「新しい時代の流れを力にする」の2つを設定しています。

1 坂町への新しい人の流れをつくる

2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

3 坂町に住みたくなる賑わいの創出

4 町民の誰もが安心して暮らすことができる地域をつくる

横断的な視点

1 2
多様な人材の活躍を推進する
新しい時代の流れを力にする

2. 対象期間

対象期間は、令和3年度から令和6年度までの4年間としています。

3. 効果検証

基本目標や施策の基本的な方向に設定した数値目標に基づき、町民や外部有識者を含めた評価委員会で、実施した施策・事業の効果を客観的に検証し、その検証結果を踏まえた施策の見直しや総合戦略の改訂を行っていくこととしています。

4. 評価区分

進捗状況を4段階で評価しています。なお、実績値がないため評価できなかったものについては、「実績値なし」と記載しています。

評価区分	基準
順調	実績値が令和4年度の目標値以上
概ね順調	実績値が令和4年度の目標値の80%以上
やや遅れている	実績値が令和4年度の目標値の60%以上
遅れている	実績値が令和4年度の目標値の60%未満
実績値なし	実績値が無いため評価できなかったもの

※実績値は、令和5年1月末時点のものです。

5. 効果検証結果

目標	KPI数	順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている	実績値なし
基本目標1	5	2			3	
基本目標2	6	2	1	1	1	1
基本目標3	5	1	1	1	1	1
基本目標4	5	2	2		1	
横断的な視点1	1		1			
横断的な視点2	1		1			
合計	23	7	6	2	6	2

基本目標 1

「坂町への新しい人の流れをつくる」

子育てや介護を支え合える昔ながらの暮らしを提案し、また、本町における住宅問題の解消に取り組むことにより、坂町への新しい人の流れをつくり、転入を増やしていきます。

指 標		基準値 (R1)			目標値 (R6)	
社会増減数		28 人 (H27～R1 累計)			200 人 (R3～R6 累計)	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分	
目標値	50 人	100 人 (R3～R4 累計)	150 人 (R3～R5 累計)	200 人 (R3～R6 累計)	遅れている	
実績値	24 人	49 人	—	—		
進捗状況の分析		転入 765 人、転出 740 人で、25 人の社会増であった。				
今後の取組み		三世代同居・近居の推奨、空き家の利活用等を推進していくとともに、町営・町有住宅の入居者募集について、坂町公式 LINE 等を活用し広報するなど、人口増に向けた取組を推進する。				

《社会増減数の推移》

	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
転 入	733 人	636 人	832 人	693 人	765 人
転 出	△806 人	△719 人	△735 人	△669 人	△740 人
増減数	△73 人	△83 人	97 人	24 人	25 人

施策 1-1 三世代同居・近居の推奨

施策の基本的な方向		三世代同居・近居の推奨			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)	目標値 (R6)	
		三世代同居・近居住宅 支援事業利用件数		70 件 (H27～R1 累計)	60 件 (R3～R6 累計)
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	15 件	30 件 (R3～R4 累計)	45 件 (R3～R5 累計)	60 件 (R3～R6 累計)	遅れている
実績値	8 件	17 件	—	—	
進捗状況の分析		大規模な宅地開発がないため申請件数が伸びず、令和 5 年 1 月末時点の利用件数は目標値の 56%となっている。			
今後の取組み		引き続き、住宅取得予定者や町内外の不動産業者に対し、制度周知を図る広報等を行うとともに、空き家となっている住宅等の利活用を促し、住宅の流通を促進する。			

施策 1-2 小屋浦地区の定住促進

施策の基本的な方向		小屋浦地区の定住促進			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)	目標値 (R6)	
		小屋浦地区社会増減数		△67 人 (H27～R1 累計)	80 人 (R3～R6 累計)
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	20 人	40 人 (R3～R4 累計)	60 人 (R3～R5 累計)	80 人 (R3～R6 累計)	遅れている
実績値	17 人	0 人	—	—	
進捗状況の分析		転入 105 人、転出 122 人で、△17 人の社会減であった。 ※令和 5 年 1 月末時点 11 世帯 38 人の方が子育て向け町有住宅へ入居中。			
今後の取組み		小屋浦地区の住みやすさを P R するとともに、町有住宅の入居募集について積極的に周知し、転入者の増加を目指す。			

《小屋浦地区の社会増減数の推移》

	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
転 入	39 人	36 人	114 人	97 人	105 人
転 出	△77 人	△73 人	△124 人	△80 人	122 人
増減数	△38 人	△37 人	△10 人	17 人	△17 人

施策 1-3 移住定住の促進

施策の基本的な方向		移住定住の促進			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)	目標値 (R6)	
		町外在住者からの移住 定住相談件数		45 件 (年間)	50 件 (年間)
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	50 件	50 件	50 件	50 件	順調
実績値	30 件	50 件	—	—	
進捗状況の分析		東京での移住フェアの再開などにより、目標値を達成した。			
今後の取組み		移住検討者のニーズをくみ取りながら積極的に情報発信を行うとともに、移住相談をしやすい窓口づくりに取り組んでいく。			

《移住フェアの様子》



令和 4 年 6 月 11 日 (土) 及び令和 4 年 11 月 13 日 (日) に東京都で開催。
移住に関する相談を受け付けました。
(相談件数 : 23 件)



施策 1-4 空き家の利活用

施策の基本的な方向		空き家の利活用			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	基準値 (R1)		目標値 (R6)	
	空き家利活用数	128 件 (H27~R1 累計)		80 件 (R3~R6 累計)	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	10 件	40 件 (R3~R4 累計)	60 件 (R3~R5 累計)	80 件 (R3~R6 累計)	順調
実績値	23 件	44 件	—	—	
進捗状況の分析		目標値を上回っており、順調に空き家の解消が進んでいる。			
今後の取組み		空き家の所有者に対し、きめ細かな対応を行うことで、安心して相談できる窓口づくりに取り組むとともに、活用に繋げられるよう、積極的な情報発信を行っていく。			

**すぐそこ、
坂ぐらし。**
坂町空き家バンク回覧板

知
坂町を知る

人
坂ぐらしの人たち

家
空き家物件

結
空き家と人を結ぶ

坂町空き家活用支援窓口
☎082-820-1520

広島駅から電車で
16分

**すぐそこ、
坂ぐらし。**
坂町空き家バンク回覧板

平成 28 年度に空き家活用支援窓口を開設し、空き家利活用の促進に取り組んできました。

平成 28 年度から令和 5 年 1 月末までの空き家の利活用数は、187 件です。

今後も「すぐそこ、坂ぐらし。」等で、積極的に情報発信を行っていきます。



基本目標 2

「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

安心して子どもを産み、育てる環境の整備を図り、さらに、教育環境の充実に取り組みながら、子育て世代の希望をかなえ、少子化に歯止めをかけます。

指 標		基準値 (R1)		目標値 (R6)	
保育園・こども園 留守家庭児童会待機児童		0 人		0 人	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	0 人	0 人	0 人	0 人	順調
実績値	0 人	0 人	—	—	
進捗状況の分析		<p>【保育園・こども園】 待機児童を出すことなく安定した保育の運営が できている。</p> <p>【留守家庭児童会】 目標値の待機児童0人が維持できている。</p>			
今後の取組み		<p>【保育園・こども園】 待機児童0人を継続していく。</p> <p>【留守家庭児童会】 今後も待機児童が出ないように、留守家庭児童会 を運営していく。</p>			

施策 2-1 出生数の増加

施策の基本的な方向		出生数の増加			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)		目標値 (R6)
		不妊検査費・一般不妊 治療費助成事業利用 件数		11 件 (H27~R1 累計)	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	3 件	4 件	4 件	5 件	やや
実績値	2 件	3 件	—	—	遅れている
進捗状況の分析		令和 5 年 1 月末時点の利用件数は、3 件となっており、目標値を達成することができなかった。新型コロナウイルス感染予防による受診控えが影響していると思われる。			
今後の取組み		引き続き、助成事業の広報に努める。			

施策 2-2 子育てしやすい環境の整備

施策の基本的な方向		子育てしやすい環境の整備			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)		目標値 (R6)
		子育て世帯における子育て支 援の満足度		47.5%	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	—	—	—	55.0%	実績値
実績値	—	—	—	—	なし
進捗状況の分析		「子ども家庭総合支援拠点」において、福祉の専門職が、子育て世帯や妊産婦等から不安や困りごとに関する支援を行っている。			
今後の取組み		今後も継続して、子育て世帯や妊産婦等の支援を行うとともに、社会情勢を注視し、子育て支援に関する情報収集やニーズを把握し、満足度の更なる向上に努める。			

施策 2-3 「確かな学力」の育成

施策の基本的な方向		「確かな学力」の育成			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	基準値 (R1)		目標値 (R6)	
	「全国学力・学習状況調査」結果の全国平均値との比較	<小学6年> 差 国語 +5 算数 +6 <中学3年> 差 国語 △3 数学 △2 (単位:ポイント)		全国平均値比較 +5ポイント以上 (毎年度)	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	+5ポイント	+5ポイント	+5ポイント	+5ポイント	概ね順調
実績値	【小学6年】 国 +10.3 算 +6.8 【中学3年】 国 +3.4 数 +4.8	【小学6年】 国 +4.4 算 +4.8 【中学3年】 国 +6.0 数 +8.6	—	—	
進捗状況の分析		中学校は目標値を大きく上回っている。小学校は、目標値を下回っているが、目標値まで、国語はあと0.6ポイント、算数はあと0.2ポイントとなっており、確かな学力の育成が概ね図られている。			
今後の取組		引き続き、児童生徒が分かりやすい授業を実現し、確かな学力の向上を目指す。			

施策2-4 健やかな体の育成

施策の基本的な方向		2-（4）健やかな体の育成			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	基準値 (R3)		目標値 (R6)	
	「新体力テスト」体力合計点の全国平均値との比較	<小学5年> 差 男子 +0.22 女子 +0.91 <中学2年> 差 男子 +2.17 女子 +1.51 (単位:ポイント)		全国平均値比較 +3ポイント以上 (毎年度)	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	+3ポイント	+3ポイント	+3ポイント	+3ポイント	遅れている
実績値	【小学5年】 男子 +0.22 女子 +0.91 【中学2年】 男子 +2.17 女子 +1.51	【小学5年】 男子 +0.36 女子 +0.98 【中学2年】 男子 -2.22 女子 -3.97	—	—	
進捗状況の分析		小学校は、全国平均値を上回ることができたが、小・中学校ともに目標値を下回っている。新型コロナウイルス感染症により、体育科授業や部活動等の機会が減少したことが影響していると考えられる。			
今後の取組		感染症対策を行いながら、運動の機会を増やしていく。また、体育科授業や部活動等を通して体力の向上を図る。			



坂町ホームページ、坂町公式LINEでスポーツ等の大会結果を掲載しています！



施策 2-5 家族愛・郷土愛の醸成

施策の基本的な方向		家族愛・郷土愛の醸成			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)		目標値 (R6)
		家族愛・郷土愛に関するアンケート調査 各種行事に対する満足度調査		—	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	80%	80%	80%	80%	順調
実績値	94%	90%	—	—	
進捗状況の分析		新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの行事が開催できなかったが、開催できた行事のアンケート結果は、肯定的な意見が9割を超えており、参加者の過半数以上が満足していたと思われる。			
今後の取組み		感染症対策等をしっかりと行いながら、継続して行事を行っていく。			

基本目標 3

「坂町に住みたくなる賑わいの創出」

本町の観光資源と地域資源を最大限に活用して賑わいを創出するとともに、効果的な魅力発信に取り組み、将来的な移住につながるよう、関係人口の増加を目指します。

指 標		基準値 (R1)		目標値 (R6)	
観光客数		286,000 人		305,000 人	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	293,000 人	297,000 人	301,000 人	305,000 人	概ね順調
実績値	193,160 人	253,010 人	—	—	
進捗状況の分析		目標値は、達成できなかったが、前年と比較すると、観光客数が 1.3 倍となった。温泉施設の利用者数は、コロナ禍前の水準に戻っている。			
今後の取組み		感染症対策をした上で、イベント等は再開されてきており、観光客数の増加に向け、新たな観光施設の活用やイベント等の PR を強化する。			

施策3-1 ベイサイドビーチ坂の賑わい創出

施策の基本的な方向		ベイサイドビーチ坂の賑わい創出			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (H27～R1の平均)		目標値 (R6)
	ベイサイドビーチ坂への来場者数		39,822人 (H27～R1の平均) ※H30は、豪雨災害による施設利用停止のため除く。		58,000人 (年間)
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	46,000人	50,000人	54,000人	58,000人	やや遅れている
実績値	20,257人	30,631人	—	—	
進捗状況の分析		新型コロナウイルス感染症の影響による海水浴場の運営縮小や、物販施設の完成の遅れにより、目標値を達成できなかった。			
今後の取組み		令和5年4月にオープンする物販施設などを活用し、さらなる賑わい創出を図る。			



施策 3-2 悠々健康ウォーキングのまちの推進

施策の基本的な方向		悠々健康ウォーキングのまちの推進			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (H27~H30 平均)		目標値 (R6)
	悠々健康ウォーキング大会 参加者数		1,179 人 (H27~H30 平均)		1,200 人 (1 大会当り)
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	1,200 人	1,200 人	1,200 人	1,200 人	実績値 なし
実績値	—	—	—	—	
進捗状況の分析		新型コロナウイルス感染症の影響により、大会を開催できなかった。			
今後の取組み		感染症対策を行いながら、どのような開催方法があるかを検討し、令和 5 年度の開催に向け準備を進める。			

施策 3-3 特産品の研究・開発

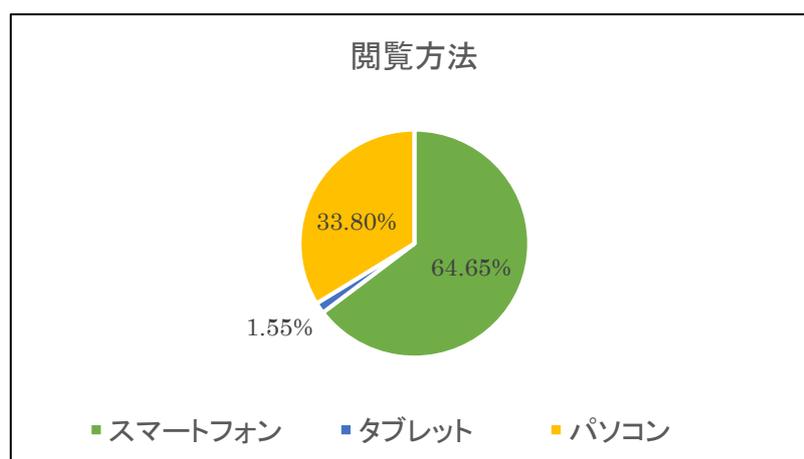
施策の基本的な方向		3 - (3) 特産品の研究・開発			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)		目標値 (R6)
	新たな特産品の開発数		1 件 (H27~R1 累計)		1 件 (R3~R6 累計)
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	令和 6 年度までに 1 件				遅れている
実績値	0 件	0 件	—	—	
進捗状況の分析		令和 3 年度から坂町をイメージした饅頭を開発しており、坂町の PR につなげるためのアンケート調査を行った。これらのデータを活用し、商品化を進めている。			
今後の取組み		令和 5 年度初旬に饅頭を商品化し、これをきっかけとした新たな特産品開発を民間事業者や関連団体などと進めていく。			

施策3-4 自慢したい地域資源等についての情報発信

施策の基本的な方向		自慢したい地域資源等についての情報発信			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)	目標値 (R6)	
	坂町ホームページのアクセス 件数 (月平均)		17,462 件	20,000 件	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	20,000 件	20,000 件	20,000 件	20,000 件	順調
実績値	29,565 件	25,497 件	—	—	
進捗状況の分析		坂町ホームページの閲覧者の約7割が、スマートフォンやタブレットから閲覧していたため、スマートフォン等からの閲覧の最適化を目指し、令和4年8月にホームページをリニューアルした。			
今後の取組み		より魅力的なホームページとなるようPR動画やVR（仮想現実）等を掲載し、さらなる情報発信の強化を図る。			

《よく見られているページ》

順位	ページ名	割合
1位	トップページ	12.47%
2位	新型コロナウイルス感染症関連情報	1.54%
3位	入札・契約	1.20%
4位	坂町くらし応援クーポン券について	0.93%
5位	ベイサイドビーチ坂	0.78%



基本目標 4

「町民の誰もが安心して暮らすことができる地域をつくる」

住み続けたいと思える地域をつくるために、質の高い暮らしを目指すとともに、町民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、健康づくりを推進します。

また、地域における防災・減災への取組による災害に強いまちづくりを進めます。

指 標		基準値 (H29)		目標値 (R6)	
健康寿命の延伸		男性 79.88 歳	女性 84.53 歳	健康寿命の全国平均を上回り、且つ延伸を続ける	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	(国：R元) 男性 72.68 歳 女性 75.38 歳	(国：R元) 男性 72.68 歳 女性 75.38 歳			概ね順調
実績値	(H30) 男性 79.89 歳 女性 84.98 歳	(R元) 男性 79.45 歳 女性 84.42 歳	—	—	
進捗状況の分析		全国平均を上回っているが、H30年と比較して、男女とも若干短くなっている。			
今後の取組み		引き続き、保健事業、介護予防事業への参加を呼びかける。			



元気いきいき教室



筋力アップ教室

健康増進に向け、様々な健康教室を開催しています。



施策 4-1 生活道路の整備

施策の基本的な方向		生活道路の整備			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)	目標値 (R6)	
	都市防災総合推進事業整備 延長(幅員 4.0m以上にする 町道整備) L=1,144m (坂 西環状線他)		整備済区間 343m/1,144m	整備済区間 1,144m/1,144m	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	58.2%	67.5%	86.3%	100%	
実績値	58.6%	58.6%	—	—	
進捗状況の分析		用地の交渉等に手間取り、整備が進められていない。			
今後の取組み		用地交渉等を行っていき、整備を行っていく。			

施策 4-2 保健・福祉の拠点整備

施策の基本的な方向		保健・福祉の拠点整備			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)	目標値 (R6)	
	保健・福祉の拠点整備		—	保健・福祉の 拠点整備の完了	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	—	30%	70%	100%	
実績値	—	10%	—	—	
進捗状況の分析		新型コロナウイルス感染症の影響で事業着手が遅れたが、福祉の総合窓口開設に向けて準備を進めており、県等の関係機関と協議している。			
今後の取組み		窓口開設に向けた具体的な取組みを進めていく。			

施策 4-3 安全で安心して暮らせるまちづくり

施策の基本的な方向		河川監視カメラの設置			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名			基準値 (R1)	目標値 (R6)
		河川監視カメラの設置数			0 箇所
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	6 箇所	7 箇所 (R3~R4 累計)	7 箇所 (R3~R5 累計)	7 箇所 (R3~R6 累計)	順調
実績値	6 箇所	7 箇所	—	—	
進捗状況の分析		河川監視カメラの設置完了。 坂町ホームページ及び坂町公式LINEを通じて、いつでも閲覧できる。			
今後の取組み		町の防災・減災活動に活用するとともに、町民の早期の避難行動につなげるなど地域防災力向上に役立てていただけるよう広報等を行っていく。			

施策 4-4 周辺市町との連携によるサービス向上

施策の基本的な方向		周辺市町との連携によるサービス向上			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名			基準値 (R1)	目標値 (R6)
		連携中枢都市圏制度における連携事業数			59 件
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	2 件	3 件	3 件	3 件	順調
実績値	7 件	3 件	—	—	
進捗状況の分析		ひろしま国際平和文化祭の開催など、新たに4事業を追加した。なお、地図情報の共同利用等に係る連携事業はICT推進協議会事業へ集約されたため連携事業数が1減となった。			
今後の取組み		生活に密着した連携事業を増やし、町民の生活の利便性を高めるよう努めるとともに、町広報紙、町ホームページ等で事業について周知する。			

令和4年8月27日(土)、8月28日(日)に開催された「ひろしま国際平和文化祭」に坂町も参加し、町の魅力等をPRしました。



横断的視点 1 多様な人材の活躍を推進する

横断的な視点 1-1 多様な人材の活躍の推進

施策の基本的な方向		多様な人材の活躍の推進			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名			基準値 (R1)	目標値 (R6)
		審議会等委員のうち女性委員 の占める割合			24.7%
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	29.0%	29.0%	30.0%	30.0%	概ね順調
実績値	29.7%	26.4%	—	—	
進捗状況の分析	審議会等の数：41 審議会等委員総数：292人、うち女性委員：77人 （令和3年度の女性委員）87人 （令和4年度の女性委員）77人 △10人 ※令和3年度の審議会等委員総数は、293人。				
今後の取組み	充て職の委員が多いため、庁舎内での働きかけだけではなく、地域住民にも、男女共同参画についての啓発活動を行っていく。				

横断的視点 2 新しい時代の流れを力にする

横断的な視点 2-1 新しい生活様式への対応

施策の基本的な方向		新しい生活様式への対応			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)	目標値 (R6)	
	マイナンバーカードの取得率		16.4%	80%	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	60%	70%	75%	80%	概ね順調
実績値	47.56%	68.99%	—	—	
進捗状況の分析		令和5年1月31日時点での取得率は68.99% (8,740枚)であり、3月末には目標値である70% に到達する見込みである。			
今後の取組み		毎週木曜日19時までの専用窓口の開設及び土曜開庁 日の受付を今後も継続していくとともに、出張申請 窓口も積極的に展開していく。 また、新たに横浜出張所及び小屋浦出張所において も交付手続きができるように、機器の設置を行う。			

デジタル社会の基盤となるマイナンバーカードの取得を促進していきます。

